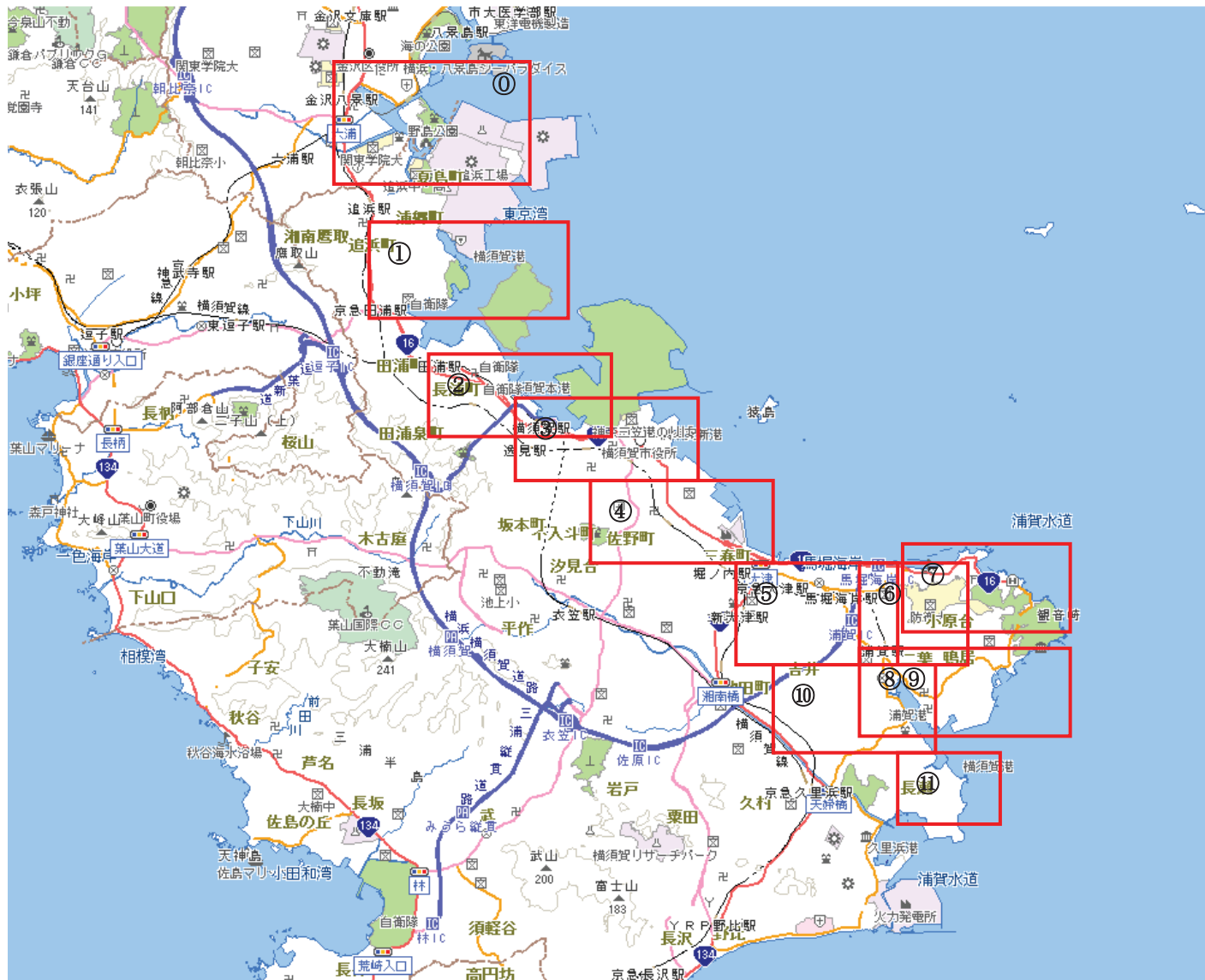


横須賀「海と船が見える坂道」マップ番号対照図

横須賀「海と船が見える坂道」マップは横須賀北部から順次策定している。

各マップの坂道はその特徴から以下の通りに分類できる。

- ・分類1 ①-④ ⑦ 主に幕末以降の横須賀の産業・軍都発展に伴う人口増による坂道。
- ・分類2 ⑤-⑥ ⑧-⑩ ⑪ 主に戦後の台地上の住宅地開発による坂道。
- ・分類3 ⑦ 主に近世における集落内及び東京湾要塞群の坂道。



横須賀「海と船が見える坂道」マップを作成するに当たり「横須賀我が町ガイドー標高マップ」を利用しています。

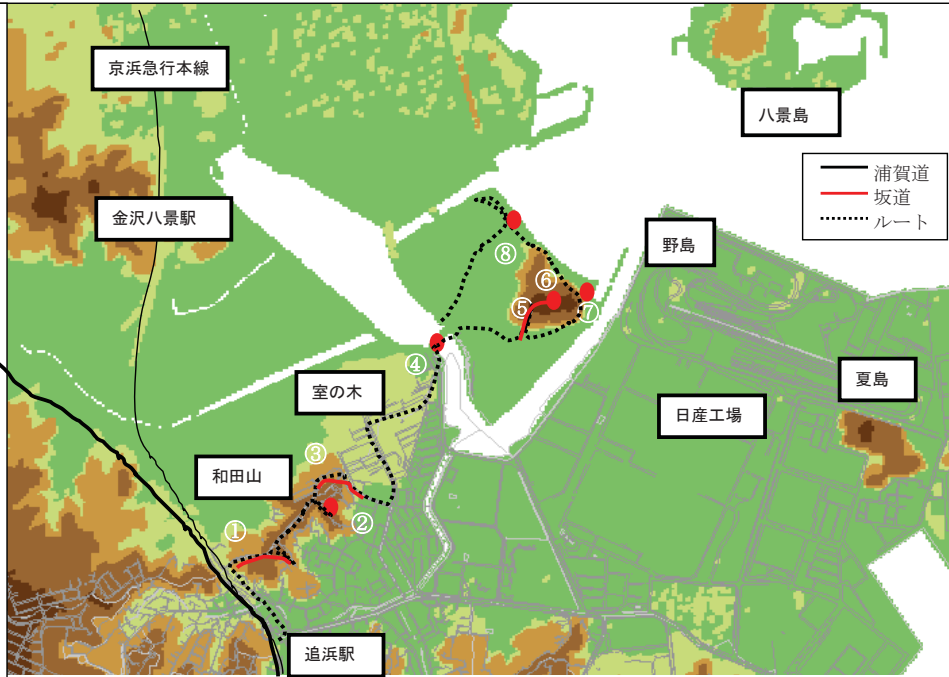
横須賀 「海と船が見える坂道」マップ① (追浜-野島)

-浦賀道に沿って- H26.7 作成 吉田

(浦賀道) に沿って

- ① 追浜本町1・和田山の急坂(27-7)
- ② 追浜本町1の視点場(27)
- ③ 六浦東1の坂(27-7)
- ④ 夕照橋と平潟湾
- ⑤ 野島公園の急階段(50-3)
- ⑥ 野島公園展望台(55)
- ⑦ 海岸線と戦争遺跡
- ⑧ 伊藤博文別荘

赤字：海と船が見える坂道
()：坂上と坂下の標高



追浜から野島にかけては、横須賀北部と横浜金沢区との境界に位置します。入り組んだ海岸線と、和田山・室の木の半島、野島・夏島の島部、空に囲まれた静穏な海域で、金沢八景となっています。大正以降、海軍の飛行場や航空機工場として埋め立てられ、戦後は日産自動車などの製造業の拠点となっています。一方横浜側は、住宅地として埋立が進んでいます。坂道は、和田山や野島にあります。

スタート
追浜駅
京急本線の駅。16号線を横浜に向かって歩くと、カクウチ「安井商店」、北原製パン。そして和田山を上る交差点に六地藏があります。



① 追浜本町1・和田山の急坂(27-7)
和田山に登る坂道です。超急な坂で優に10%超え。まっすぐ結構な勾配です。坂上からは夏島方面が見えます。



② 追浜本町1の視点場(27)
和田山を海に進と、右側に入ったところに視点場が。野島、東京湾、横須賀港が見える。



③ 六浦東1の坂(27-7)
和田山から室の木の方におりる坂道です。急な下り坂です。



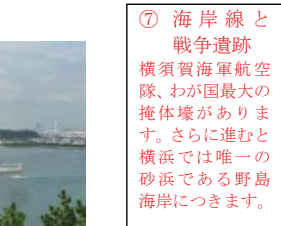
④ 夕照橋と平潟湾
室の木宿舎の前は夕照橋。金沢八景の一つ「野島夕照」。平潟湾と野島が見えます。この水路は、戦後横須賀市と横浜で境界争いがありました。



⑤ 野島公園の急階段(50-3)
野島に上る急階段です。一気に50m登ります。野島には戦前、横須賀海軍警備隊野島浦高角砲台が設置されていました。この階段から、鎌倉方面待従川がみえます。



⑥ 野島公園展望台(55)
砲台跡は頂上展望台です。展望台からは、追浜、日産工場・テストコース、八景島シーパラダイス、海の公園がよく見えます。夕日の富士山も最高です。



⑦ 海岸線と戦争遺跡
横須賀海軍航空隊、わが国最大の掩体壕があります。さらに進むと横浜では唯一の砂浜である野島海岸につきます。



⑧ 伊藤博文別荘
最近きれいに改修されました。是非訪れてください。
ゴールは、金沢八景駅がいいでしょう。



(浦賀道)に沿って

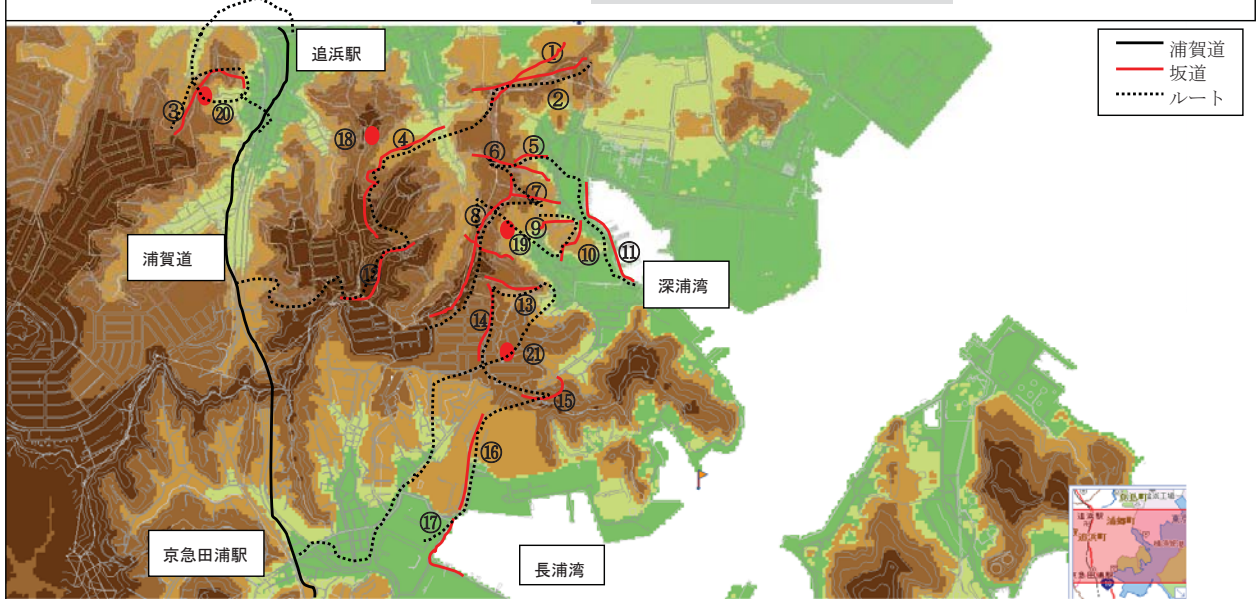
- ① 浦郷町 4(31-9)
- ② 浦郷町 3・4(38-8)
- ③ 追浜南町 1・鷹取 1 (43-9)
- ④ 追浜東町 2(53-6)
- ⑤ 浦郷町 3(19-7)
- ⑥ 浦郷町 3(46-7)
- ⑦ 浦郷町 3(36-8)
- ⑧ 浦郷町 2(40-19)
- ⑨ 浦郷町 2・3(13-8)
- ⑩ 浦郷町 3(20-8)
- ⑪ 深浦湾
- ⑫ 追浜東町 1(64-46)
- ⑬ 浦郷町 21(47-16)
- ⑭ 船越町 8(40-33)
- ⑮ 船越町 7(40-30)
- ⑯ 船越町 7・8(27-3)
- ⑰ 長浦湾
- ⑱ 平六トンネル 90m
- ⑲ 筒井トンネル 68m
- ⑳ 向坂トンネル 67m
- ㉑ 梅田トンネル 204m

赤字;海と船が見える坂道

() ;坂上と坂下の標高

横須賀「海と船が見える坂道」マップ① (追浜-田浦)

-浦賀道に沿って- H25.12 作成 吉田



京急追浜から京急田浦にまでの浦賀道は一番尾根の低いところを通ります。そのため、浦賀道沿いには「海と船が見える坂道」はありません。一方で、明治以降、田浦・船越地区に海軍工廠等、さらに大正以降追浜・浦郷地区に海軍航空隊等が立地し合わせて人口も急増しています。そのため、住宅地等が複雑な地形の谷戸などに立地。「海と船が見える坂道」が発達しています。でも名前はありません。

① 浦郷町 4 (31-9)

山頂付近のマンション開発で新たにできた道。深浦湾につながる谷戸に降りる階段あり。トンネルの上は②の坂道。



② 浦郷町 3・4 (38-8)

①の坂道から進入可。東京湾、深浦湾、マンション群、坂道①を臨める。



③ 追浜南町 1・鷹取 1 (43-9)

追浜駅の裏にある坂道。坂道を登りきると尾根道となり湘南鷹取団地に至る。下には向坂トンネル。



④ 追浜東町 2(53-6)

マンション開発によるできた新しい坂道。県営団地の坂道②とつながる。海は見えないが追浜が見える。



⑤ 浦郷町 3 (19-7)

PM2.5 の時に踏査したので海は見えなかった。しかししっかりと石垣に階段。上質な坂道。



⑥ 浦郷町 3(46-7)

追浜田浦の中でも推奨の坂道の一つ。深浦湾から山越えて追浜東町の谷に降りる山越えルート。山頂部破碎機なマンション開発されている。



⑦ 浦郷町 3
(36-8)

この坂道もいい。割と真っ直ぐな坂が続く。登りきると⑧の坂道につながる。東京湾や深浦湾、夏島が望める。道路からの入り口は地味であるが、畑も見られる。



⑧ 浦郷町
2(40-19)

北側基点から鞍部十字路まで
⑥の坂道から鞍部十字路まで歩く。坂水戸もあるが意外とゆるい坂道や平坦路。左手には東京湾、右手には観音寺。



浦郷町 2(40-19)

鞍部十字路から坂道南端送電鉄塔まで。
十字路からは東京湾、箱崎が望める。ここから尾根道を登る。東京湾の眺めがよい。地道の坂道をゆくと船越の鉄塔に至る。そこからは東京湾、長浦湾の眺めが最高。



浦郷町 2(40-19)

鞍部十字路から深浦湾側へ。
十字路からは深浦湾に降りる。十字路からは東京湾、箱崎が望める。この坂道はきれいな坂道である。この十字路の下には筒井トンネルがある。



浦郷町
2(40-19)

鞍部十字路から追浜東町へ。
急な階段である。自転車でも上られる。



⑨ 浦郷町 2・3(13-8)

深浦湾から榎戸山に登る坂道です。深浦湾がよく見えます。



⑩ 浦郷町 3
(20-8)
この坂も横戸山に登る坂道です。能栄治の墓の中を登っていき降りるときに深浦湾が見えます。



⑪ 深浦湾
②の坂道から見た深浦湾のポートパークを歩いてみました。静穏な海域で、水辺の遊歩道もあり、ボートも係留している雰囲気です。



⑫ 追浜東町 1
(64-46)
トンネルを 2 つ抜けると県営住宅に入りそこにある公園からは東京湾がよく見えます。近くにはマンション開発も見えます。



⑬ 浦郷町 2・1
(47-16)
谷戸の坂道です。東京湾がよく見えます。戦後開発された団地と坂道⑩でつながっています。



⑭ 船越町 8
(40-33)
⑬の坂道と船越の団地とを結ぶ道です。東京湾見えます。



⑮ 船越町 7
(40-30)
戦後開発された団地ですが、東京湾が見えます。この台地の下は自衛隊の基地となっています。



⑯ 船越町 7・8
(27-3)
14 の団地から長浦湾の自衛隊基地に降りる坂です。以前は栄光学園や関東自動車も立地していました。長浦湾が見えます。



⑰ 長浦湾
戦前は海軍工場がありましたが、戦後は、海上自衛隊、公共ふ頭、工場が立地しました。今は海上自衛隊に集中化しています。大小に作られたガントリークレーンはなくなりました。



横須賀には「海と船が見える坂道」があります。明治以降の港町には、このような坂道はつきものですね。御意見、横須賀の坂道情報等はどんどんお寄せ下さい。
吉田秀樹

⑱ 平六トンネル
90m
昭和 14 年



⑲ 筒井トンネル
68m
明治 38 年



⑳ 向坂トンネル
67m
昭和 8 年



㉑ 梅田トンネル
204m
明治 20 年



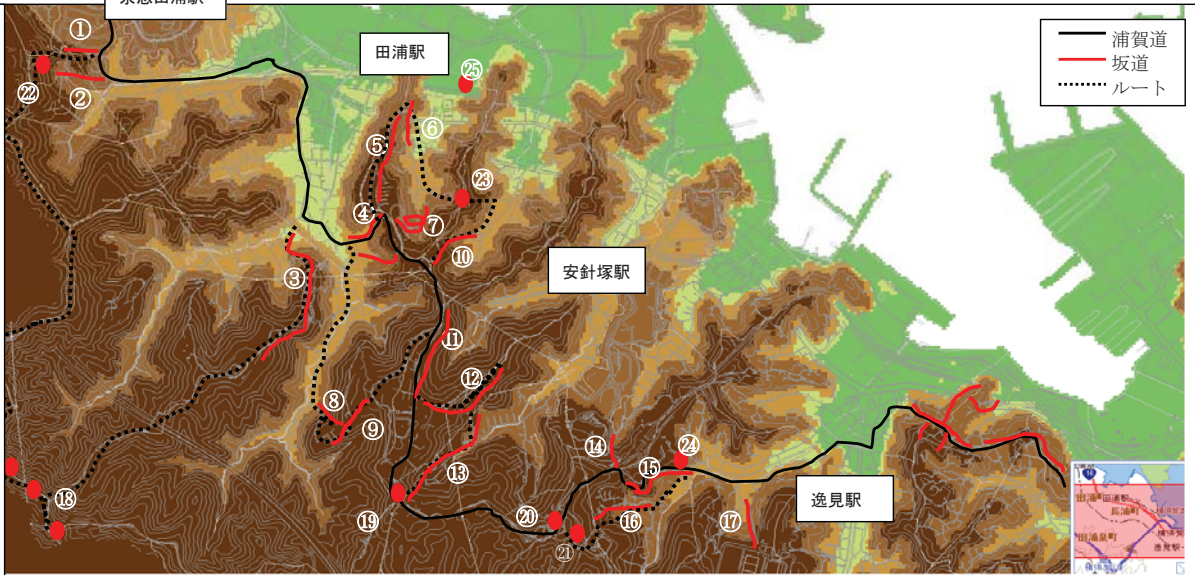
横須賀 「海と船が見える坂道」マップ② (田浦ー逸見)

-浦賀道に沿って- H25.7 作成 H26.1 修正 吉田

(浦賀道)に沿って

- ① 港が丘(70-39)
- ② 赤坂(53-41)
- ③ 梅林の坂(120-20)
- ④ 太田坂(55-14)
- ⑤ しろんだの坂(60-45)
- ⑥ 田浦1の坂(41-10)
- ⑦ のの字坂(40-23)
- ⑧ 田浦泉町の坂(55-20)
- ⑨ 田浦泉町の坂(107-73)
- ⑩ 長浦町5の坂(72-19)
- ⑪ 長浦町4の坂、
十三峠の坂(120-85)
- ⑫ 長浦町4.3の坂(114-90)
- ⑬ 長浦町3の坂
(96,122-37)
- ⑭ 吉倉町2の坂(82-57)
- ⑮ 琵琶首坂(82-23)
- ⑯ 柿の谷の坂(73-30)
- ⑰ 逸見浄水場の坂(62-8)
- ⑱ 乳頭山(205m)等
- ⑲ 十三峠
- ⑳ 海が見える丘公園
- ㉑ 按針塚展望台

赤字：海と船が見える坂道
()：坂上と坂下の標高
—：坂道風土記掲載の坂



横須賀中央から北部は平地がなくリアス式海岸となり、浦賀道は山道となっています。幕末の横須賀製鉄所の建設以降、海軍が集積し、戦後は平和産業が立地しました。その中で、人口増に対応し、住宅が山手に横須賀では「谷戸」と呼びますが「谷戸」に立地しました。そのため縦横に坂道が発達し、「海と船が見える坂道」もあります。

トンネルなど

- ② 田浦山トンネル
- 盛福寺トンネル
- 海軍境界石
- ⑳ ながかまトンネル
- ㉑ 西逸見防災トンネル
- ㉒ 七釜トンネル

① 港が丘
(70-39)

港が丘から階段が234段。東京湾、長浦がよく見える。



② 赤坂
(53-41)

港が丘開発で一部なくなる。トンネルは海軍水道。



③ 梅林の坂道
(120-20)

梅林のタワー、坂道から東京湾、海自がよく見える。



④ 太田坂
(55-14)

田浦からの登り坂。登りきると海が見える。南側にも別の階段がある。



⑤ しろんだの坂
(60-45)

太田坂上の浦賀道から尾根筋に長浦港に向かう坂道。市営住宅を通り尾根道に。途中東京湾がよく見える。





⑥ 田浦 1 の坂
(41-10)
しろんだの坂から
16 号線トンネルの
上を通り谷戸に一
気に下りる。



⑦ のの字坂
(40-23)
陸軍による物資
輸送のため造ら
れる。ループ式。



⑧ 田浦泉町の坂
(55-20)
横須賀市水道取水系統
有馬系統上にある。真
っ直ぐの急階段。住民
により利用されるもか
なり怖い。



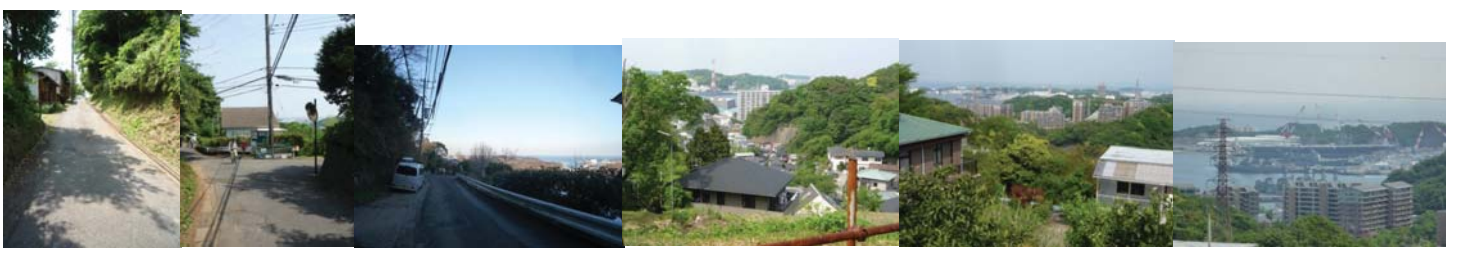
⑨ 田浦泉町の坂
(107-73)
⑧の坂を登りきると
真っ直ぐの坂道に沿
って集落が。登りき
ると長浦湾が見え
る。



⑩ 長浦町 5 の坂
(72-19)、
長浦町 5 から浦賀道に
登る道。国道ができる
まではこの道を使って
主要道浦賀道に出た？
坂上から海が見える。



⑪ 長浦町 4 の坂、
十三峠の坂(120-85)
太田坂から、十三峠まで
登り坂が続く。浦賀道沿
いに戦後開拓される。長
浦湾の海自、そして米軍
も見える。



⑫ 長浦町 4.3 の坂
(114-90)
浦賀道から尾根伝いに海
に向かう。途中から畑道
となる。按針塚駅に降り
るには、⑩長浦町 3 の坂
を下りる。東京湾絶景。



⑬ 長浦町3の坂
(96-37)

⑫の坂道から、一気に下り長浦町3の市営住宅に。真っ直ぐ進むと按針塚駅に。



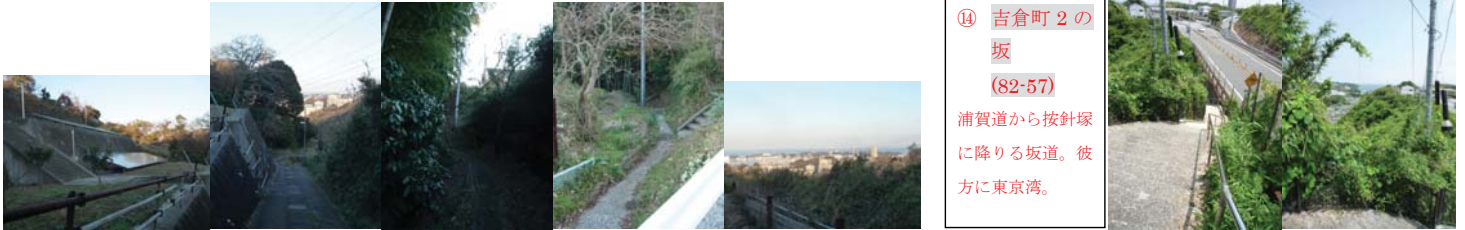
長浦町3の坂
(122-37)

坂道を下りて別の坂道を登る。長い坂道。途中開発中止の宅地もある。登りきると13峠、海がよく見える。



⑭ 吉倉町2の坂
(82-57)

浦賀道から按針塚に降りる坂道。彼方に東京湾。



⑮ 琵琶首坂
(82-23)

逸見に向かって真っすぐ坂と階段で降りる。海は見えないが楽しい坂。



⑯ 柿の谷の坂
(73-30)

塚山公園展望台から西逸見町2に下る。⑮琵琶首坂より痛んでいる。



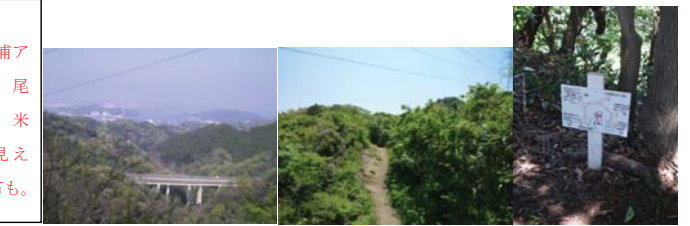
⑰ 逸見浄水場の坂

海軍水道の終点。ここから造船所に浄水が供給。真っ直ぐの坂道と浄水場の建物が魅力的。海軍境界石も。



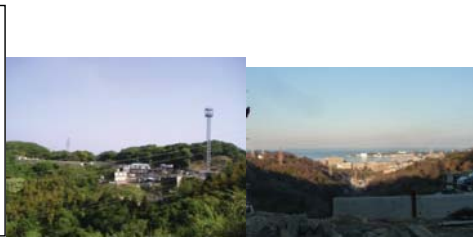
⑱ 乳頭山等

港が丘から「三浦アルプス」を歩く。尾根道から東京湾、米軍などがよく見える。陸軍の境界石も。



⑲ 十三峠

太田坂から塚山公園にかけての地域。東京湾等がよく見える。



⑳ 港が見える丘公園

県立塚山公園内にある。海自、米軍が一望。桜の名所。



㉑ 按針塚展望台

県立塚山公園内にある。海自、米軍、三浦アルプスが一望。360度の景色。





主なトンネルなど

② 田浦山トンネル
海軍水道トンネル。
大正 11 年 90m。
通れるが急坂。



盛福寺トンネル
海軍水道トンネル。
大正 11 年? 146m。
通れない。大正 11
年から 10 年間は人
は通行可。



海軍境界石
海軍水道の境界石。
鎌倉、藤沢、さらに
水源半原まで海軍
水道が通る。現在は
横須賀市所管。



③ ながかまトンネル
横須賀市には谷戸と
谷戸をつなぐ防災トネ
ルが存在。田浦町 1-長
浦町 5 を結ぶ。
平成 8 年、214m。



④ 西逸見防災トンネル
吉倉町 2 と西逸見町 2
を結ぶ。
昭和 60 年、214m。



⑤ 七釜トンネル
明治 22 年、
大正 13 年、
昭和 18 年
97m。



番外編

番外編
貝山緑地
追浜地区の工業団
地内に。戦前は海
軍向上や飛行場。

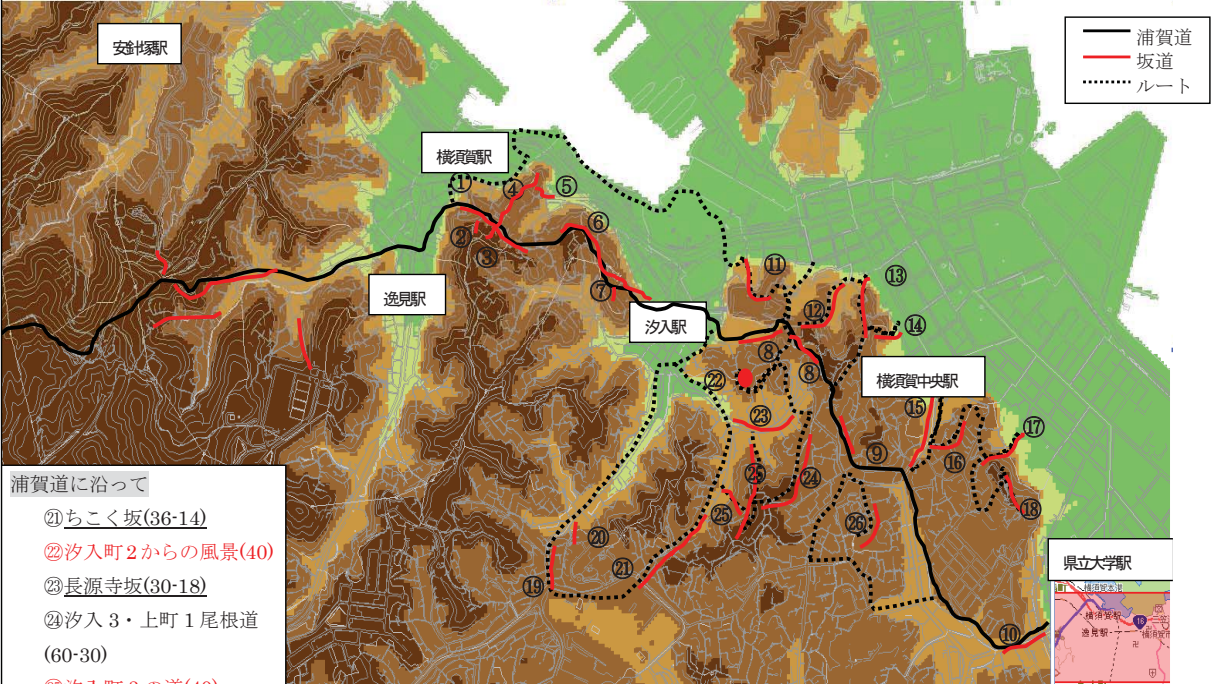


横須賀 「海と船が見える坂道」 マップ③ (汐入-県立大学)

-浦賀道に沿って-H25.7 作成 吉田

浦賀道に沿って

- ① 稲荷山の坂(40-9)
- ② 山王大目神社の坂(62-38)
- ③ 東逸見町1の坂(53-42)
- ④ 海自一望の道
- ⑤ 一国坂(40-4)
- ⑥ 汐入町の坂(50-5)
- ⑦ 汐入町の坂(46-37)
- ⑧ 谷町の坂(28-10)
- ⑨ 小屋の坂(50-28)
- ⑩ うぐいす坂(50-32)
- ⑪ 聖徳寺坂(21-2)
- ⑫ 諏訪公園の坂(48-3)
- ⑬ 良長院の坂(42-7)
- ⑭ 緑ヶ丘の坂(32-6)
- ⑮ 徳得寿院の坂(42-5)
- ⑯ 平坂(25-5)
- ⑰ 若松町3の坂(45-14)
- ⑱ 裏坂(32-3)
- ⑲ 深田台砲台跡(50)
- ⑲ 坂本の坂(27-13)
- ⑳ 坂本町2の坂(35-19)



浦賀道に沿って

- ㉑ ちこく坂(36-14)
- ㉒ 汐入町2からの風景(40)
- ㉓ 長源寺坂(30-18)
- ㉔ 汐入3・上町1尾根道(60-30)
- ㉕ 汐入町3の道(40)
- ㉖ 読書公園の坂(45-25)

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

横須賀中央から北部は平地がなくリアス式海岸となり、浦賀道は山道となっています。幕末の横須賀製鉄所の建設以降、工場、商業地の埋立も始まり、背後の山・「谷戸」の地域には、人口増に対応し、住宅や陸軍が立地しました。そのため縦横に坂道が発達し、「海と船が見える坂道」もあります。今は、埋立て、高層ビル立地が進み海ははるか遠くに見えます。

① 稲荷山の坂(40-9)

逸見から汐入への山岳ルートに登り部分。米軍基地がよく見える。おすすめルート。



② 山王大目神社の坂(62-38)

浦賀道の枝道にある神社。無人の様子。



③ 東逸見町1の坂(53-42)

浦賀道の枝道の階段。横須賀港がよく見える。



④ 海自一望の道

海と船を見る最高おすすめポイント。現在突き当りにマンション建設中。非常に目障り。



⑤ 一国坂(40-4)

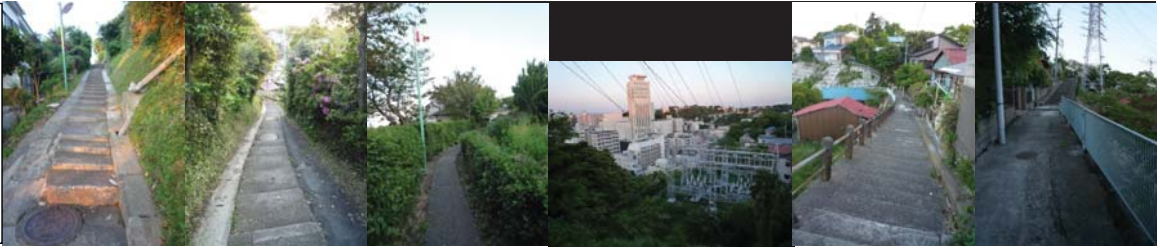
浦賀道から海軍基地に降りる急階段。米軍のドライドックがよく見える。「一国」は旅館の名前。



⑥ 汐入町の坂

(50-5)

尾根道と汐入に降りるルート。長い道。米軍が見える。海軍境界石や関東大震災のレンガがれきも見える。



⑦ 汐入町の坂

(46-37)

浦賀道からの枝道。米軍がよく見える。



⑧ 谷町の坂

(28-10)

汐入から上町への山道の入口。ヨゼフ病院・諏訪神社からの坂道と合流



小屋の坂

(50-28)

谷町の坂に続く坂道。左に大勝利山を見る。海は見えないが眺望良好。



⑨ うぐいす坂

(50-32)

浦賀道の坂道。尾根道から上町の商店街に降りるところ。



⑩ 聖徳寺坂

(21-2)

上町から安浦に降りる坂道。平成町マンションのために海は見えず。途中庄屋跡を見る。



⑪ 諏訪公園の坂

(48-3)

どぶ板通りから、幼稚園、緑ヶ丘高校を通り諏訪公園に彼方に海を見れる。



⑫ 良長院の坂

(42-7)

本町と浦賀道をつなぐ道。浦賀道側の坂道は眺望がいいが、海はかすかに見える程度。



⑬ 緑ヶ丘の坂(32-6)

本町から背後の海蝕崖を通る坂道。ビルも多いが海も見える。



⑭ 徳得寿院の坂(42-5)

大滝町から豊川稲荷の階段を上る急階段。市役所の向こうに東京湾が見える。



⑮ 平坂(25-5)

中央にある有名な坂。上町と埋立地の繁華街を結ぶ。横須賀の有名書店の名前にも。



⑯ 若松町3の坂(45-14)

滝本寺から中央平坂に降りる坂道。かなり急。下から見た坂上の住宅は驚き。



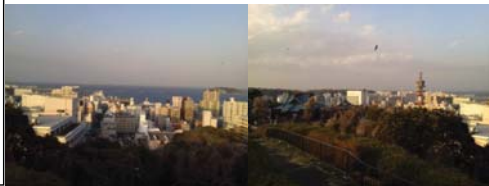
⑰ 裏坂(32-3)

横須賀共済病院と深田台を結ぶ坂道。民間資金で作ったらしく寄付金を刻んだプレート石が坂上にある。



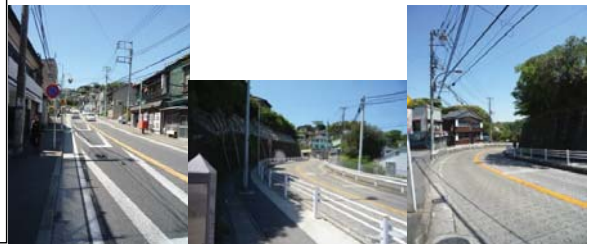
⑱ 深田台砲台跡(50)

戦前は砲台。今は中央公園。ほとんど遺構はない。市街地があるもスカイライン制限で海は見える。



⑲ 坂本の坂(27-13)

汐入から坂本に登る坂道。改良が進んだ道。



⑳ 坂本町2の坂(35-19)

坂本の坂のもう一つの坂道。この道の方が本道か？



横須賀近代の歴史・文化（坂道、パン、カクウチなど）に関心のある方、一緒に港町を探検しましょう。

㉑ ちこく坂

(36-14)

汐入から坂本に登る緩やかな坂道。戦前坂本の陸軍兵舎に急いで帰るためにこの名に



㉒ 汐入町2からの風景(40)

小屋の坂からの枝道。途中海軍天文台も見える。さらに進むと汐入・海自基地が見える。



㉓ 長源寺坂

(30-18)

汐入から上町に登るもう一つのルート。写真に道路改良以前の坂。



㉔ 汐入3・上町1尾根道

(60-30)

長源寺坂の頂上からは山の尾根道が走る。道路改良後は、長源寺坂に降りるためには急な階段がある。この宅地はレンガ山と言われ、関東大震災後瓦礫のレンガで宅地造成。



㉕ 汐入町3の坂道

(40)

尾根道とちこく坂の間に広がる坂道・階段・道。典型的な「谷戸」に広がる坂道。眺望もよく海自基地も見える。



㉖ 読書公園の坂

(45-25)

緒明山に登るために急な坂道。戦前は配水池。現在は中央図書館と読書公園。見晴らしは良いが海は見えない。



横須賀には「海と船が見える坂道」があります。明治以降の港町には、このような坂道はつきものなんです。これからも横須賀の坂道を調べたいと思います。御意見、横須賀の坂道情報をどんどんお寄せ下さい。

吉田秀樹



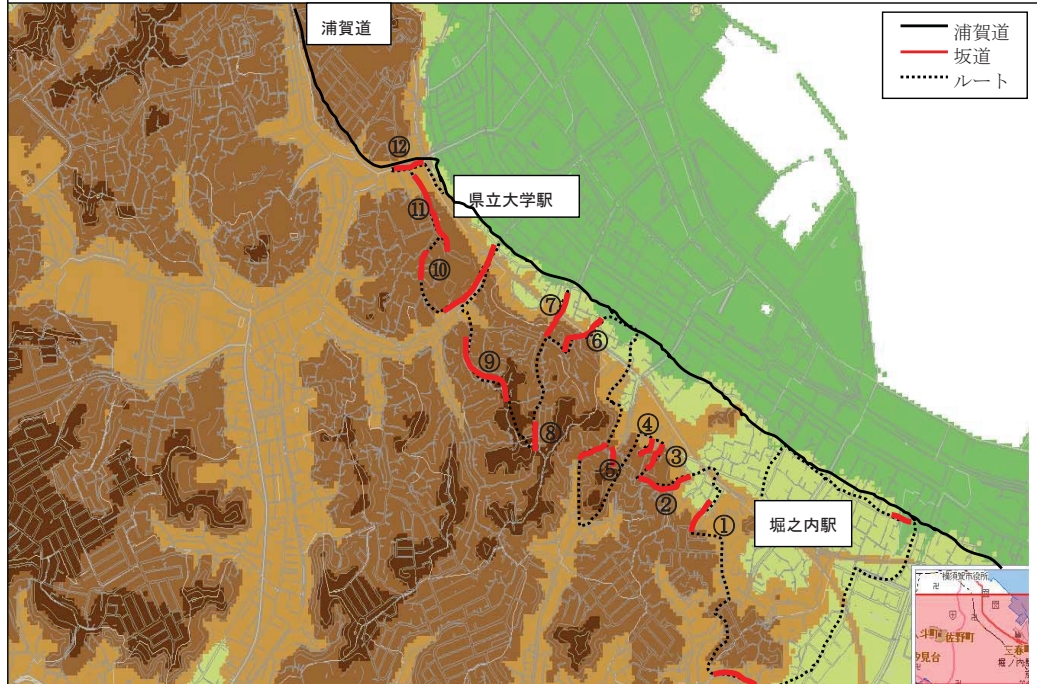
横須賀 「海と船が見える坂道」 マップ④ (堀之内-安浦)

-浦賀道に沿って-作成 吉田 250516

堀之内- (浦賀道) -
 砂坂(6-3)・砂坂地藏尊- (古東海道)
 天神坂(17-8)・藍染稲荷神社-
 大津町・三春町 5 丁目階段-
 金堀トンネル (信号有り) -

- ① 三春町 5 丁目坂道(25-8)-
- ② 三春町 56 丁目坂道(40-8)-
三春町 5 6 階段-
- ③ 三春町 6 坂道(41-14)-
- ④ 三春町 6 階段(27-14)-
山崎ふれあいトンネル-
山神稲荷大明神-
- モチン坂(27-16)・庚申塔-
- ⑤ 三春町 6 階段(41-24)-
- ⑥ 富士見町 1 坂道(32-6)-
- ⑦ 富士見町 1 坂道(28-4)-
- ⑧ 富士見町 2 階段(53-38)-
- ⑨ 富士見町 2 坂道(50-22)-
どうみき坂(23-6)-
- ⑩ 田戸台坂道(40-32)-
- ⑪ 長官邸の坂(36-18)-
- ⑫ 聖徳寺坂(18-2)- 県立大学

赤字①; (海と船が見える坂道)
 () ; (坂上標高-坂下標高)
 ;坂道風土記掲載の坂



この付近は明治以前は海岸崖が発達しその下に浦賀道が走っていました。明治以降海軍基地や安浦の埋立など横須賀の発展とともに海岸崖の台地にも住宅が立地しました。埋立地、浦賀道と背後台地とを連絡するための道が「海と船が見える坂道」となります。今は、埋め立てが進み海ははるか遠くに見えます。



砂坂 浦賀道に沿っている。



天神坂 古東海道にある。



① 三春町 5 丁目坂道(25-8) 小学生の通学路。彼方に海が見える。



② 三春町 56 丁目坂道(40-8) 崖をの彫りきる長い坂道。坂上で海が見える。



④ 三春町 6 坂道(41-14) 学校の通学路。海がよく見える。



③ 三春町 6 階段(27-14) 行き止まりの坂道だが海がよく見える。



⑤ 三春町6階段(41-24) 山崎トンネル近くの枝道。海がよく見える。



⑥ 富士見町1坂道(32-6) 京急線からも見える階段で林の中だが海は見える。



⑦ 富士見町1坂道(28-4) 京急線からも見える階段で林の中だが海は見える。



⑧ 富士見町2階段(53-38) 奥の直線階段であるが海がよく見える。



⑨ 富士見町2坂道(50-22) 山頂からどうきみ坂に降りる長い坂道。海が見える。



⑩ 田戸台坂道(40-32) 田戸台頂上から下る坂道。海見える。

どうきみ坂(23-6) 県立大学に降りる坂。魅力的。



⑪ 長官邸の坂(36-18) 旧鎮守府超海底から下る坂道。最近まで裁判所あり。海見える。



⑫ 聖徳寺坂(18-2) 頂上からかすかに海が見える。

横須賀には「海と船が見える坂道」があります。明治以降の港町には、このような坂道はつきものなんですね。御意見、横須賀の坂道情報等もしどしお願いします。

吉田秀樹